



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 関西ペイント株式会社  
 コード番号 4613 URL <http://www.kansai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部副本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 石野 博  
 (氏名) 青柳 彰  
 配当支払開始予定日

TEL 06-6203-5531  
 平成25年12月3日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	154,758	11.4	13,764	15.6	16,926	26.8	11,339	40.6
25年3月期第2四半期	138,894	14.8	11,911	48.5	13,346	42.8	8,067	62.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 22,403百万円 (397.5%) 25年3月期第2四半期 4,503百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	42.55	—
25年3月期第2四半期	30.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	381,130	244,579	56.6
25年3月期	362,625	222,798	54.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 215,660百万円 25年3月期 197,860百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	12.2	29,000	20.0	33,000	16.4	20,000	12.6	75.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	272,623,270 株	25年3月期	272,623,270 株
26年3月期2Q	6,157,272 株	25年3月期	6,131,804 株
26年3月期2Q	266,475,235 株	25年3月期2Q	266,559,950 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州経済の停滞が続くものの、新興国経済は鈍化するもなお拡大が続き、アメリカ経済の緩やかな回復もあり、弱いながらも回復基調が続きました。一方、インドやインドネシア等では、通貨安の影響により景気減速懸念が強まる状況となりました。わが国経済は、円高是正や金融・経済政策により企業収益が改善し、景気の本格的な回復へ向かうことが期待される状況となりました。

当社グループの連結業績につきましては、国内においては、期間前半にエコカー補助金制度終了等による自動車生産の低迷の影響などを受けましたが、後半にかけ、回復基調で推移いたしました。海外においては、インドは、経済成長に鈍化の動きがみられたものの、依然として塗料需要の拡大は続き、タイ、インドネシアも、自動車生産の拡大により業績が拡大いたしました。中国は、日中関係悪化の影響により落ち込んだ自動車生産が徐々に回復し、期間後半には、昨年同水準程度まで持ち直してまいりました。アフリカは、欧州経済停滞の影響を受け、需要は伸び悩みましたものの、売上は緩やかに伸長いたしました。このほか、固定資産売却益を計上いたしました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は1,547億58百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は137億64百万円（前年同期比15.6%増）、経常利益は169億26百万円（前年同期比26.8%増）、四半期純利益は113億39百万円（前年同期比40.6%増）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

## 《日本》

自動車新車用分野では、期間前半は、エコカー補助金制度の終了等の影響による自動車生産台数の減少もあり、売上は減少いたしました。期間後半は回復基調で推移いたしました。工業分野では、自動車部品用及び産業機械の需要落ち込みもありましたが、その他工業用の需要の回復もあり、売上は僅かながら伸長いたしました。建築分野では、戸建・マンション改修工事全般で、消費税増税を見越した駆け込み需要に加え、新製品の拡販につとめたことにより、防食分野では、公共事業の発注増加による橋梁塗替用塗料の需要増加もあり、売上は僅かながら伸長いたしました。自動車補修用分野及び船舶分野では、市況の低迷の影響を受けました。また、原材料価格は依然として高水準で推移いたしました。このような状況のなか、引き続きトータルコスト低減への取り組みを推進いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は755億35百万円（前年同期比0.5%減）、経常利益は85億4百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

## 《インド》

自動車分野では、自動車の販売台数が減少したものの、主要顧客の生産回復及び売上価格の是正もあり、売上は伸長いたしました。建築分野においても、国内経済成長に鈍化の動きがみられましたが、依然として需要拡大が続き、業績が伸長いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は251億43百万円（前年同期比20.9%増）、経常利益は26億52百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

## 《アジア》

タイにおいては、新車購入支援策が終了したものの、売上の伸長が続き、インドネシアにおいても、内需が堅調に推移したことにより、増収増益となりました。中国においては、日中関係悪化の影響を受けていた主要顧客向け需要減少も、期間後半に昨年並みの水準まで回復してきたことに加え、為替換算の影響もあり、業績は拡大いたしました。このほか、平成24年4月に連結子会社化したインドネシアの、PT. KANSAI PRAKARSA COATINGSの業績が、連結業績に寄与いたしました。一方、同社の株式取得に伴い発生したのれんの償却を計上いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は302億50百万円（前年同期比40.6%増）、経常利益は46億51百万円（前年同期比101.5%増）となりました。

## 《アフリカ》

欧州債務危機の影響により、国内経済成長の伸び悩みが続いたものの、売上は緩やかに伸長し、原材料価格の高騰等の影響もありましたが、収益は向上いたしました。一方、KANSAI PLASCON AFRICA LTD. の株式取得に伴い発生したのれんの償却を計上いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は155億78百万円（前年同期比11.6%増）、経常利益は1億20百万円（前年同期比 - %）となりました。

《その他》

欧州債務危機の影響により、トルコにおいても経済成長に減速がみられたものの、特に工業分野の売上が伸びました。また、北米における自動車販売の増加に伴う、持分法による投資利益の増加が増益に寄与いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は82億50百万円（前年同期比22.9%増）、経常利益は9億97百万円（前年同期比93.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は、3,811億30百万円となり、前連結会計年度末と比べ、185億5百万円の増加となりました。これは、主に受取手形及び売掛金、投資有価証券の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、1,365億51百万円となり、前連結会計年度末と比べ、32億75百万円の減少となりました。これは、主に短期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、2,445億79百万円となり、前連結会計年度末と比べ、217億80百万円の増加となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は484億10百万円と前連結会計年度末に比べ41億2百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益205億62百万円などの収入に対し、売上債権の増加31億62百万円、法人税等の支払額58億74百万円などの支出により、前年同期比17億43百万円減少の90億43百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入58億83百万円、有形固定資産の取得85億40百万円などの支出に対し、有形固定資産の売却51億53百万円などの収入により、前年同期比6億86百万円減少の△95億2百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済98億75百万円などの支出に対し、短期借入れによる収入37億13百万円などの収入により、前年同期比20億60百万円減少の△47億90百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成25年5月10日発表の通期連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	53,538	54,333
受取手形及び売掛金	81,539	85,073
商品及び製品	22,726	22,744
仕掛品	3,969	4,271
原材料及び貯蔵品	13,820	13,174
その他	8,750	8,866
貸倒引当金	△1,321	△1,039
流動資産合計	183,023	187,425
固定資産		
有形固定資産	79,160	84,372
無形固定資産		
のれん	15,762	13,822
その他	14,110	13,837
無形固定資産合計	29,873	27,660
投資その他の資産		
投資有価証券	56,724	66,446
その他	15,366	17,170
貸倒引当金	△1,522	△1,944
投資その他の資産合計	70,568	81,672
固定資産合計	179,602	193,705
資産合計	362,625	381,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,430	52,030
短期借入金	13,423	7,361
関係会社短期借入金	2,580	2,580
未払法人税等	4,937	5,984
賞与引当金	3,681	3,970
その他	17,769	17,803
流動負債合計	96,822	89,729
固定負債		
社債	15,000	15,000
退職給付引当金	7,065	7,474
その他	20,938	24,346
固定負債合計	43,004	46,821
負債合計	139,826	136,551
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	27,154	27,154
利益剰余金	142,807	152,542
自己株式	△4,851	△4,884
株主資本合計	190,768	200,470
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,663	23,674
繰延ヘッジ損益	△3	—
為替換算調整勘定	△11,567	△8,485
その他の包括利益累計額合計	7,092	15,189
少数株主持分	24,937	28,918
純資産合計	222,798	244,579
負債純資産合計	362,625	381,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	138,894	154,758
売上原価	97,487	107,826
売上総利益	41,407	46,932
販売費及び一般管理費	29,495	33,167
営業利益	11,911	13,764
営業外収益		
受取利息	104	139
受取配当金	506	572
持分法による投資利益	1,046	2,070
雑収入	636	1,066
営業外収益合計	2,293	3,849
営業外費用		
支払利息	378	327
社債利息	42	42
たな卸資産廃棄損	108	100
為替差損	205	—
雑支出	122	217
営業外費用合計	857	687
経常利益	13,346	16,926
特別利益		
固定資産売却益	2,807	4,350
投資有価証券売却益	520	19
負ののれん発生益	148	16
事業譲渡益	120	—
特別利益合計	3,596	4,386
特別損失		
固定資産売却損	—	82
固定資産除却損	106	246
投資有価証券評価損	1,949	15
減損損失	—	31
持分変動損失	—	374
厚生年金基金脱退拠出金	155	—
特別損失合計	2,211	750
税金等調整前四半期純利益	14,731	20,562
法人税等	5,364	7,206
少数株主損益調整前四半期純利益	9,367	13,355
少数株主利益	1,300	2,016
四半期純利益	8,067	11,339



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,367	13,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,939	5,051
繰延ヘッジ損益	—	3
為替換算調整勘定	△1,690	3,163
持分法適用会社に対する持分相当額	△234	829
その他の包括利益合計	△4,864	9,047
四半期包括利益	4,503	22,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,507	19,436
少数株主に係る四半期包括利益	996	2,966

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	14,731	20,562
減価償却費	3,293	3,931
減損損失	—	31
のれん償却額	808	906
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△145	△367
貸倒引当金の増減額(△は減少)	118	154
受取利息及び受取配当金	△610	△712
支払利息	421	370
持分法による投資損益(△は益)	△1,046	△2,070
持分変動損益(△は益)	—	374
投資有価証券評価損益(△は益)	1,949	15
固定資産除売却損益(△は益)	△2,701	△4,021
売上債権の増減額(△は増加)	△1,660	△3,162
たな卸資産の増減額(△は増加)	△220	591
仕入債務の増減額(△は減少)	△589	△2,919
その他	△429	358
小計	13,920	14,043
利息及び配当金の受取額	1,438	1,235
利息の支払額	△418	△360
法人税等の支払額	△4,154	△5,874
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,786	9,043
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,343	△5,883
定期預金の払戻による収入	1,840	1,024
有価証券の取得による支出	△6,561	△5,508
有価証券の売却による収入	6,561	5,508
有形固定資産の取得による支出	△6,638	△8,540
有形固定資産の売却による収入	4,342	5,153
無形固定資産の取得による支出	△162	△204
投資有価証券の取得による支出	△7,305	△3,024
投資有価証券の売却による収入	9,598	2,299
子会社株式の取得による支出	△494	△36
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△8,517	—
貸付けによる支出	△88	△231
貸付金の回収による収入	168	81
その他	△214	△139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,815	△9,502

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,941	3,713
短期借入金の返済による支出	△4,560	△9,875
長期借入れによる収入	—	885
長期借入金の返済による支出	△5,965	△82
自己株式の取得による支出	△7	△32
自己株式の売却による収入	1	—
配当金の支払額	△1,331	△1,604
少数株主への配当金の支払額	△674	△957
少数株主への払戻による支出	△133	△69
少数株主からの払込みによる収入	—	3,232
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,730	△4,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	1,145
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△731	△4,103
現金及び現金同等物の期首残高	42,924	52,512
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,193	48,410

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	計				
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	75,910	20,794	21,513	13,960	132,179	6,714	138,894	—	138,894
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,248	3	87	22	6,362	—	6,362	△6,362	—
計	82,159	20,798	21,601	13,982	138,542	6,714	145,257	△6,362	138,894
セグメント利益	8,262	2,260	2,307	0	12,831	514	13,346	0	13,346

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、米国・欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本、インド以外の各セグメントに属する主な国又は地域

アジア……タイ、中国、マレーシア等

アフリカ……南アフリカ、ナミビア、ボツワナ等

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	計				
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	75,535	25,143	30,250	15,578	146,508	8,250	154,758	—	154,758
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,154	10	13	31	6,209	8	6,217	△6,217	—
計	81,689	25,154	30,263	15,609	152,717	8,258	160,976	△6,217	154,758
セグメント利益	8,504	2,652	4,651	120	15,929	997	16,926	—	16,926

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、米国・欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国又は地域

インド……インド、ネパール

アジア……タイ、中国、マレーシア等

アフリカ……南アフリカ、ナミビア、ボツワナ等